

校長室の窓から 226

080421 6時間目の授業

6時間目の授業を見て回りました。6年1組は理科室で「ものの燃え方と空気」の実験です。

集気びんに窒素を入れる方法を担任の先生が実演しておられ、子供たちが興味深く手元を見つめていました。どうやらこの後、ろうそくの炎をいれて、窒素にはものを燃やすはたらきがあるのかわからないのかを確かめるようです。

窒素が入った集気びんに、ろうそくの炎を近づけてみると・・・？ さて、子供たちの予想は当たっていたのでしょうか。

2階のマルチでは、4年生が音楽の教科書を手に歌を歌っていました。何らかの事情で6時間目が短くなり、急ぎよ、音楽室へ行かずにマルチで音楽をすることになったそうです。

歌っていた曲は、「ありがとうの花」。

これまでに何度も朝の会で歌ってきた曲です。もうすっかりお馴染みの曲なので、子供たちはとてもきれいに歌い上げていました。もともとは4年生の教材曲だったことを初めて知りました。

4年2組の教室では、すっかり散り果てた桜の姿を写真で撮り、どのような変化があったかをタブレットに記録する活動を行っていました。

桜は、ほんの短い期間の間に刻々と様相が変化していく優れた教材ですね。

子供たちが好奇心いっぱい学習している姿がうれしかったです。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀 かおり

